

いつでもお問い合わせください

登録してサポートを受けるには
www.philips.com/support

BTM2460

ご質問はフィ
リップスへ



取扱説明書

PHILIPS

目次

1 重要	2	7 その他の機能	15
安全上の注意	2	アラームタイマーを設定する	15
2 マイクロシステム	3	スリープタイマーを設定する	15
はじめに	3	外部デバイスの音楽を再生する	15
パッケージの内容	3	ヘッドフォンで聴く	16
メインユニットの概要	4	8 製品情報	17
リモコンの概要	5	仕様	17
3 はじめに	7	USB 対応情報	18
スピーカーの設置	7	サポートされている MP3 ディスク 形式	18
FM アンテナの接続	7	9 トラブルシューティング	19
電源を接続する	7	10 通知	21
リモコンの準備	8		
時計の設定	8		
電源のオン/オフ	8		
ディスクからの再生	9		
USB の再生	9		
再生の制御	9		
別のトラックへのスキップ	10		
トラックをプログラムする	10		
Bluetooth 対応デバイスから再生する	10		
5 ラジオを聴く	12		
ラジオ局へのチューニング	12		
FM ラジオ局を自動的に記憶する	12		
FM ラジオ局を手動で記憶させる	12		
プリセットされたラジオ局を選択する	12		
ステレオ/モノラル放送を選択する	12		
6 サウンドの調整	14		
プリセットされたサウンド効果を選択する	14		
音量レベルを調節する	14		
音声をミュートする	14		

1 重要

安全上の注意

- 通気のため、製品の周囲に十分な空間を確保してください。
- 製造元によって指定されている付属品またはアクセサリ以外は使用しないでください。
- バッテリー使用上の注意：怪我、物品の損傷、製品の破損を招くバッテリーの液漏れを防止するために、次の点に注意してください。
 - バッテリーを正しく装着してください（製品に占められているとおりに + / - を装着してください）。
 - 製品を長期間にわたって使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
 - バッテリーを直射日光や炎などの過度の熱にさらさないでください。
- 製品に水滴がかかったり水跳ねしたりしないようにしてください。
- 危険性のある物体を製品の上に置かないでください（液体の入った物、火が点いたキャンドルなど）。
- ダイレクトプラグインアダプタのプラグを断路装置として使用している場合、断路装置はすぐに動作可能な状態にしておいてください。

警告

- このデバイスのケースは絶対に取り外さないでください。
- 機器のどの部分にも絶対に潤滑剤を塗らないでください。
- 機器は他の電子機器の上に絶対に置かないでください。
- 機器は直射日光、裸火、熱から離して置いてください。
- 機器内部のレーザー光は絶対に覗き込まないでください。
- 機器を電源から切断するために、電源コード、プラグ、アダプターに手が届きやすいようにしておいてください。

聴力に関する安全性

！ 注意

- 聴力の低下を防ぐため、大音量での使用は短時間とし、通常は適切な音量で使用してください。音量を大きくする場合は使用時間を短くしてください。

ヘッドフォンを使用する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量と使用時間を守ってください。
- 耳が慣れてきたと感じた場合でも、音量を上げ過ぎないでください。
- 周囲の音が聞き取れないほど音量を上げないでください。
- 危険が予測される状況での使用は十分に注意し、必要に応じて使用を中断してください。
- イヤフォンおよびヘッドフォン使用時の過度の音量は、聴力低下の原因となります。

2 マイクロシステム

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。当社が提供するサポートを最大限にご利用いただくには、製品を www.philips.com/welcome で登録ください。

はじめに

この機器を使用して、次のことをお楽しみいただけます。

- ディスク、Bluetooth 対応デバイス、USB ストレージデバイス、または他の外部デバイスのオーディオを再生する
- FM ラジオ局の放送を聴く

次のサウンド効果のいずれかを選択できます。

- DSC 1 (パワフル)、DSC 2 (バランス)、DSC 3 (ウォーム)、DSC 4 (ブライト)、DSC 5 (クリア)

この機器では、次のメディア形式がサポートされています。

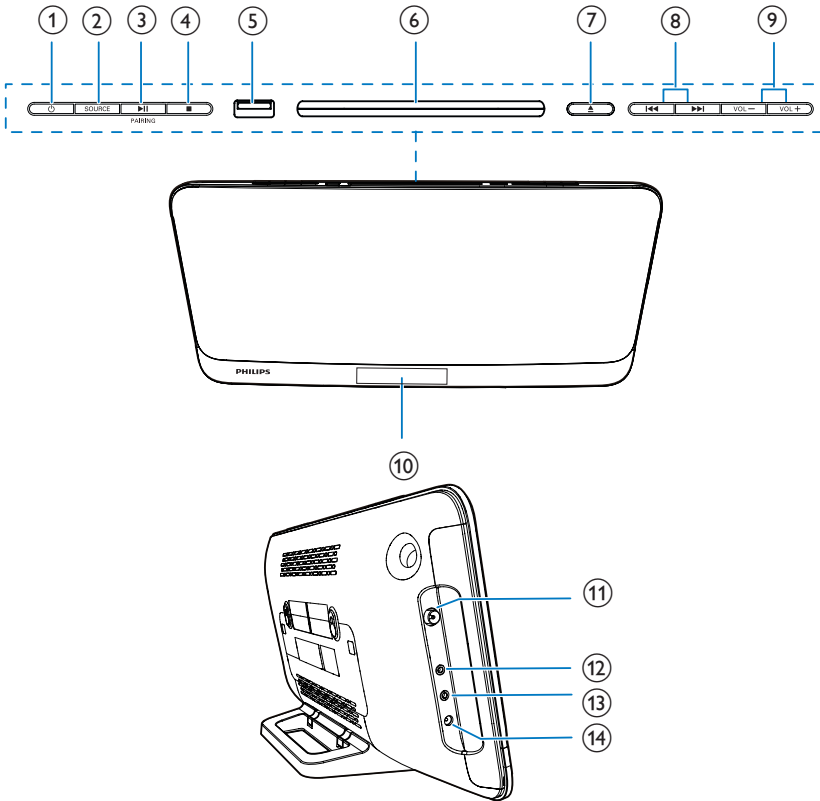


パッケージの内容

パッケージに以下の物が含まれていることを確認してください。

- 製品本体
- FM ワイヤアンテナ 1 本
- リモコン (単四乾電池 1 個付き)
- ショートユーザーマニュアル
- テーブルスタンド
- 壁への取り付け手順を示したシート (ネジ付き)

メインユニットの概要



① 電源

- ユニットのオン/オフを切り替える。
- スタンバイモードまたはエコスタンバイモードに切り替える。

② SOURCE

- 音源を DISC(ディスク)、USB、TUNER(チューナー)、BT (Bluetooth)、AUDIO IN (オーディオ入力) に切り替える。

③ ▶II / PAIRING

- 再生を開始、一時停止、再開する。
- Bluetooth モードでは、3 秒間押し続けるとペアリングモードに入る。

④ ■

- 再生を停止するかプログラムを消去する。

⑤ USB

- USB ソケット。

⑥ ディスクコンパートメント

⑦ ▲

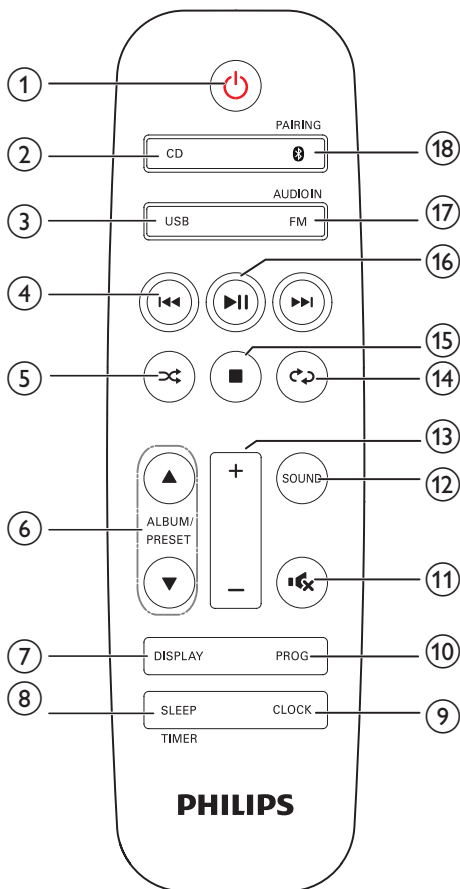
- ディスクコンパートメントを開閉する。

⑧ ◀◀ / ▶▶

- 前または次のトラックにスキップする。

- トラック、ディスク、USB 内で検索する。
 - ラジオ局にチューニングする。
 - 時間を調整する。
- ⑨ VOL+/VOL-
- 音量を調節する。
- ⑩ 表示パネル
- ⑪ FM ANT
- FM アンテナソケット。
- ⑫ 
- ヘッドフォンソケット。
- ⑬ AUDIO IN
- 外部オーディオデバイス用のオーディオ入力ソケット (3.5mm)。
- ⑭ DC IN 12V $\Rightarrow$ 2.5A
- 電源ソケット。

リモコンの概要



- ① 
- ユニットのオン/オフを切り替える。
 - スタンバイモードまたはエコパワースタンバイモードに切り替える。
- ② CD
- DISC 音源を選択する。
- ③ FM
- FM 音源を選択する。
- ④ ◀◀ / ▶▶
- 前または次のトラックにスキップする。

- トラック、ディスク、USB 内で検索する。
 - ラジオ局にチューニングする。
 - 時間を調整する。
- ⑤  **SHUFFLE**
- トラックをランダムに再生する。
- ⑥ **ALBUM/PRESET ▲ / ▼**
- プリセットされたラジオ局を選択する。
 - 前または次のアルバムにスキップする。
- ⑦ **DISPLAY**
- ディスプレイの明るさを調整する。
 - 再生中に、再生情報が表示される。
- ⑧ **SLEEP / TIMER**
- スリープタイマーを設定する。
 - アラームタイマーを設定する。
- ⑨ **CLOCK / SCAN**
- 時計を設定する。
 - 時計情報が表示される。
 - FM ラジオ局または ラジオ局をスキャンする。
- ⑩ **PROG**
- トラックをプログラムする。
 - ラジオ局をプログラムする。
- ⑪  **MUTE**
- ミュートのオン/オフを切り替える。
- ⑫ **SOUND**
- プリセットのサウンド効果を選択する。
- ⑬ **+/-**
- 音量を調節する。
- ⑭  **REPEAT**
- トラックまたはすべてのトラックを繰り返し再生する。
- ⑮  **STOP**
- 再生を停止するかプログラムを消去する。
- ⑯  **PLAY/PAUSE**
- 再生を開始、一時停止、再開する。
- ⑰ **USB/AUDIO IN**
- 繰り返し押して、音源として USB またはオーディオ入力を選択する。
- ⑱  **PAIRING**
- 音源として BT (Bluetooth) を選択する。
 - Bluetooth モードで 1 台のデバイスを接続している場合、3 秒間押し続けるとペアリングモードに入る。
 - Bluetooth モードで 2 台のデバイスを接続している場合、3 秒間押し続けると、最初に接続されたデバイスまたは音楽を再生していないデバイスが切断され、ペアリングモードに切り替わる。

3 はじめに

！ 注意

- ここでの説明と異なる制御手順、調整手順、または実行手順を行った場合は、有害なレーザーにさらされるか、その他の危険な操作を引き起こす可能性があります。

この章の指示には、必ず順番どおりに従ってください。

フィリップスにお問い合わせの際は、お使いの機器のモデル番号とシリアル番号が必要になります。モデル番号およびシリアル番号は、機器の裏に記載されています。これらの番号を以下に控えておいてください。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

スピーカーの設置

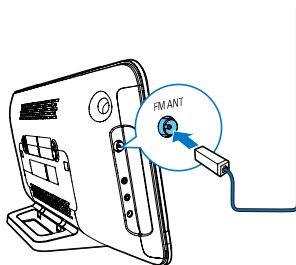


✻ ヒント

- スピーカーを壁に取り付ける方法については、壁への取り付け手順を示したシート（付属）を参照してください。

FM アンテナの接続

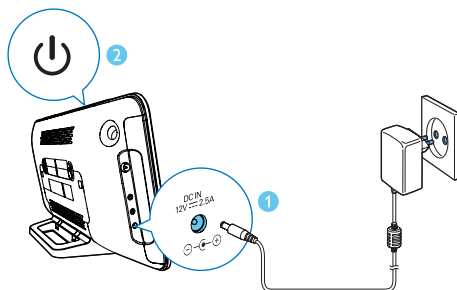
- ラジオを聴くには、付属のアンテナをこの機器に接続します。



電源を接続する

！ 注意

- 製品に損傷を与えるおそれがあります。電源電圧と、本体裏に表示されている電圧とが一致していることを確認してください。
- 感電の危険性があります。AC 電源アダプターを差し込む前に、アダプターのプラグ変換器がしっかりと固定されていることを確認してください。AC 電源アダプターを取り外すときには、コードではなく、必ずプラグをつかんで引き抜いてください。
- AC 電源アダプターを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。



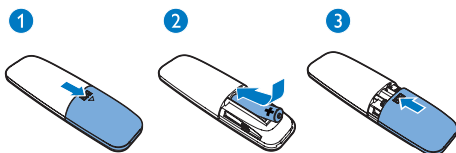
リモコンの準備

！ 注意

- 製品に損傷を与えるおそれがあります。リモコンを長期間にわたって使用しない場合は、電池を取り外してください。

リモコンに電池を入れる：

- 1 電池入れのカバーを開きます。
- 2 極性 (+/-) を間違えないよう、図に従って付属の単四電池を入れます。
- 3 電池入れのカバーを閉じます。



時計の設定

- 1 スタンバイモードで、リモコンの **CLOCK** を 3 秒間押し続けます。
↳ [24H] または [12H] の時間形式が表示されます。
- 2 ◀◀ / ▶▶ を押して、[24H] または [12H] の時間形式を選択します。
- 3 **CLOCK** を押して確定します。
↳ 時間を示す数字が表示され、点滅します。
- 4 ◀◀ / ▶▶ を押して時間を選択し、**CLOCK** を押して確定します。
↳ 分を示す数字が表示され、点滅します。
- 5 ◀◀ / ▶▶ を押して分を選択し、**CLOCK** を押して確定します。

≡ 注

- ボタンを 10 秒間押さなかった場合、時計設定モードが自動的に終了します。

* ヒント

- 電源オンモードで **CLOCK** を押すと、時計情報が表示されます。

電源のオン／オフ

- ① を押します。
↳ 機器は、前回使用時に選択されていた音源に切り替わります。

スタンバイモードに切り替える

- もう一度 ① を押すと、機器がスタンバイモードに切り替わります。
↳ パネルに時間 (設定している場合) が表示されます。

エコスタンバイモードに切り替える：

- ① を 3 秒以上押し続けます。
↳ 表示パネルが暗くなります。

≡ 注

- スタンバイモードで 15 分間が経過すると、機器はエコパワースタンバイモードに切り替わります。

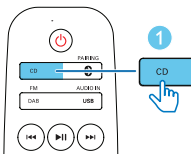
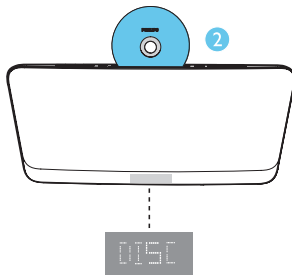
4 再生

ディスクからの再生

注

- ディスクに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認します。

- 1 CD を押して、音源として [DISC] を選択します。
- 2 印刷面が正面を向くようにディスクをディスクコンパートメントに挿入します。
→ 再生が自動的に開始されます。再生が自動的に開始されない場合は、▶▶ を押します。



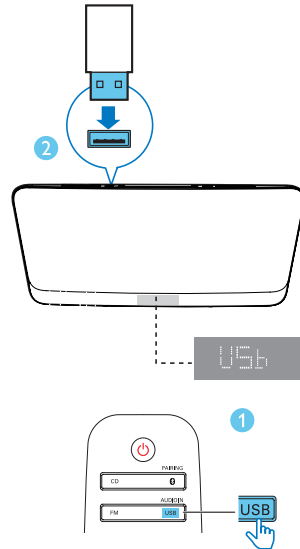
USB の再生

注

- USB デバイスに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認します (‘製品情報’ 17 ページを参照)。

- 1 USB/AUDIO IN を繰り返し押して、音源として [USB] を選択します。

- 2 USB デバイスを ㊦ ソケットに挿入します。
→ 再生が自動的に開始されます。再生が自動的に開始されない場合は、▶▶ を押します。



再生の制御

▲ / ▼	フォルダを選択します。
⏮ / ⏭	前または次のトラックにスキップします。 トラック内を早戻し／早送りするときに押し続けます。
▶▶	再生を一時停止／再開します。
■	再生を停止します。
↺	トラックまたはすべてのトラックを繰り返し再生します。
↻	トラックをランダムに再生します (プログラムされたトラックには適用されません)。

別のトラックへのスキップ

CD の場合:

◀◀ / ▶▶ を押して別のトラックを選択します。

MP3 ディスクおよび USB の場合:

- 1 ALBUM/PRESET ▲ / ▼ を押して、アルバムまたはフォルダを選択します。
- 2 ◀◀ / ▶▶ を押して、トラックまたはファイルを選択します。

トラックをプログラムする

最大 20 のトラックをプログラムできます。

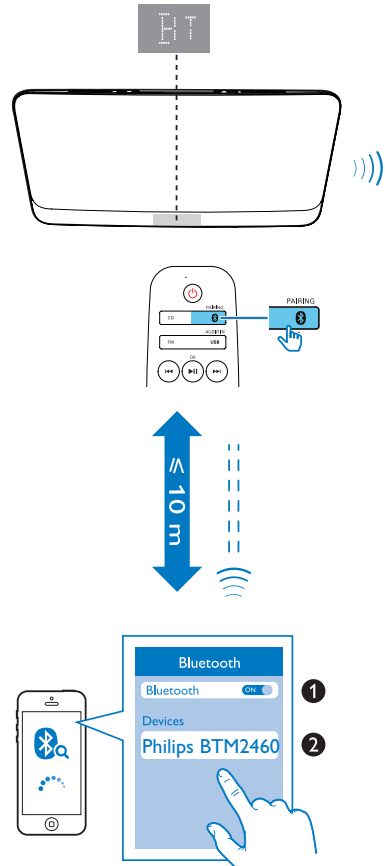
- 1 再生を停止して **PROG/SCAN** を押し、プログラムモードを有効にします。
- 2 MP3 トラックの場合は、**ALBUM/PRESET ▲ / ▼** を押してアルバムを選択します。
- 3 ◀◀ / ▶▶ を押してトラックを選択し、**PROG/SCAN** を押して確定します。
- 4 手順 2 ~ 3 を繰り返して、他のトラックをプログラムします。
- 5 ▶▶ を押して、プログラムしたトラックを再生します。
 - プログラムを消去するには、再生を停止して、■ を押します。

Bluetooth 対応デバイスから再生する

注

- デバイスとこの機器をペアリングする前に、デバイスのユーザーマニュアルで、Bluetooth の互換性について確認してください。
- 一部の Bluetooth デバイスとの互換性は保証されていません。
- この機器とデバイスの間に障害物があると、動作範囲が狭くなることがあります。
- この機器と Bluetooth 対応デバイスの有効動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。
- この機器は、以前に接続されていた Bluetooth デバイスを 8 台まで記憶します。

スピーカーを使用して無線で音楽を再生するには、Bluetooth 対応デバイスと機器をペアリングする必要があります。



- 1 **PAIRING** / ① を押して、音源として **Bluetooth** を選択します。
 - ↳ [BT] (Bluetooth) が表示されます。
 - ↳ Bluetooth インジケータが青で点滅します。
- 2 高度オーディオ配信プロファイル (A2DP) をサポートするデバイスで、Bluetooth を有効にして、ペアリング可能な Bluetooth デバイスを検索します (デバイスのユーザーマニュアルを参照してください)。

- 3 Bluetooth 対応デバイスで「Philips BTM2460」を選択し、必要に応じてペアリングパスワード「0000」を入力します。
- ↳ ペアリングと接続が完了すると、Bluetooth インジケータが青で点灯し、ビープ音が鳴ります。
 - ↳ [BT]が表示されます。

- 4 接続したデバイスで音楽を再生します。
- ↳ 音楽は、Bluetooth 対応デバイスから機器にストリーミングされます。
 - 「Philips BTM2460」が見つからないか、機器とペアリングできない場合は、ビープ音が 1 回鳴ってペアリングモードに入るまで **PAIRING /**  を 3 秒間押し続けます。

現在の Bluetooth 対応デバイスを切断する：

- デバイスの Bluetooth を無効にします。

2 台目のデバイスとのペアリングおよび接続

この機器には、最大 2 台の Bluetooth 対応デバイスを同時にペアリングして接続することができます。

2 台目の Bluetooth 対応デバイスに接続して音楽を再生する：

- **PAIRING /**  を 3 秒間押し続けて、ペアリングモードに入ります。
 - ↳ Bluetooth インジケータが青でゆっくりに点滅します。
 - ↳ ビープ音が 1 回鳴ります。
- 接続されている別のデバイスから音楽を再生するには、現在のデバイスからストリーミングされている音楽を停止して、別のデバイスから音楽を再生します。

3 台目の Bluetooth 対応デバイスに接続して音楽を再生する：

- **PAIRING /**  を 3 秒間押し続けて、ペアリングモードに入ります。
 - ↳ 最初に接続したデバイスまたは音楽が再生されていないデバイスが切断されます。
 - ↳ ビープ音が 1 回鳴ります。

5 ラジオを聴く

ヒント

- アンテナは、テレビまたはその他の放射源からできる限り離してください。
- 付属の FM アンテナを接続していることを確認します。
- 最適な受信状態になるように、アンテナを完全に伸ばし、位置を調整します。

ラジオ局へのチューニング

- 1 FM を押して、音源としてチューナーを選択します。
- 2   を 3 秒間押し続けます。
↳ ラジオは、受信電波が強い局に自動的にチューニングされます。
- 3 他の局にチューニングするには、手順 2 を繰り返します。

電波が弱い局にチューニングする：

- 最適な受信状態になるまで   を繰り返し押します。

FM ラジオ局を自動的に記憶する

注

- 最大で、プリセットされた 30 の FM ラジオ局を保存できます。

- 1 チューナーモードで、SCAN/CLOCK を 3 秒以上押し続けて自動プログラムを有効にします。
↳ [AUTO] が表示されます。
↳ 利用できるすべてのラジオ局が、周波数帯の受信強度の順にプログラムされます。
↳ 最初にプログラムされたラジオ局が自動的に放送されます。

- 2  /  を押して、プリセットされたラジオ局を選択します。

FM ラジオ局を手動で記憶させる

- 1 FM ラジオ局に合わせます。
- 2 PROG を押してプログラミングモードを有効にします。
↳ [PROG] (プログラム) が点滅します。
- 3 ALBUM/PRESET  /  を繰り返し押して、ラジオ周波数を選択します。
- 4 PROG をもう一度押して確定します。
↳ プリセットされたラジオ局の周波数が表示されます。
- 5 上記の手順を繰り返して、他の FM ラジオ局を保存します。

注

- あらかじめ保存されているラジオ局を削除するには、別のラジオ局をその局に上書きします。

プリセットされたラジオ局を選択する

- FM モードで  /  を押して、プリセットされたラジオ局を選択します。

ステレオ／モノラル放送を選択する

注

- ステレオ放送は、チューナーモードのデフォルト設定です。
- 信号強度の低いラジオ局の場合は、モノラルサウンドに切り替えると受信状態を改善することができます。

- FM チューナーモードで、▶■を押してモノラル放送とステレオ放送を切り替えます。
 - ↳ ステレオ放送になると、[STEREO] (ステレオ)と表示されます。

6 サウンドの調整

以下の操作は、サポートされているすべてのメディアが対象です。

プリセットされたサウンド効果を選択する

- プリセットされたサウンド効果を選択するには、**SOUND** を繰り返し押します。
 - **DSC 1 (パワフル)**、**DSC 2 (バランス)**、**DSC 3 (ウォーム)**、**DSC 4 (ブライト)**、および **DSC 5 (クリア)** を選択できます。

音量レベルを調節する

- リモコンの **+/-** を繰り返し押します。
- 本体の **VOL+/VOL-** を繰り返し押します。

音声をミュートする

- 音声をミュートしたりミュートから復旧したりするには、**MUTE** を押します。

7 その他の機能

アラームタイマーを設定する

本機器は、アラーム時計として使用することができます。アラームの音源として **DISC** (ディスク)、**USB**、または **TUNER** (チューナー) を選択できます。

注

- 時計が正しく設定されていることを確認してください。

- 1 スタンバイモードで **SLEEP/TIMER** を 3 秒間押し続けます。
- 2 ◀▶/▶▶ を繰り返し押して、音源を選択します (**DISC** (ディスク)、**USB**、または **TUNER** (チューナー))。
- 3 **SLEEP/TIMER** を押して確定します。
↳ 時間を示す数字が点滅し始めます。
- 4 手順 2~3 を繰り返し、時間と分を設定し、アラームの音量を調整します。

注

- 90 秒間いずれのボタンも押さないと、タイマー設定モードが自動的に終了します。

アラームタイマーを有効／無効にするには：

- **SLEEP/TIMER** を繰り返し押してアラーム情報を表示し、アラームを有効または無効にします。
↳ タイマーが有効になると、**[TIMER]** (タイマー) が表示されます。
↳ タイマーが無効になると、**[TIMER OFF]** (タイマーオフ) が表示され、**[TIMER]** (タイマー) が消えます。

※ ヒント

- **DISC** / **USB** 音源を選択し、ディスクがトレイに置かれていないか **USB** が接続されていない場合、自動的にチューナー音源に切り替わります。

スリープタイマーを設定する

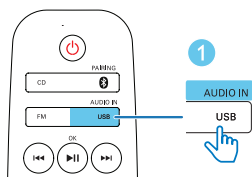
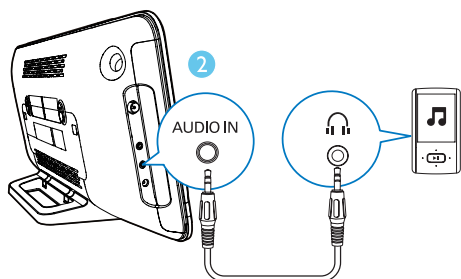
- スリープタイマーを設定するには、本体の電源がオンになっているときに、**SLEEP/TIMER** を繰り返し押して時間を選択します (分単位)。
 - **[SLP 120]**
 - **[SLP 90]**
 - **[SLP 60]**
 - **[SLP 45]**
 - **[SLP 30]**
 - **[SLP 15]**
 - **[SLP OFF]**↳ スリープタイマーが有効になると、**[SLEEP]** (スリープ) が表示されます。無効になると、**[SLEEP]** (スリープ) は消えます。

外部デバイスの音楽を再生する

オーディオケーブルで本機器に接続して、外部デバイスの音楽を再生することもできます。

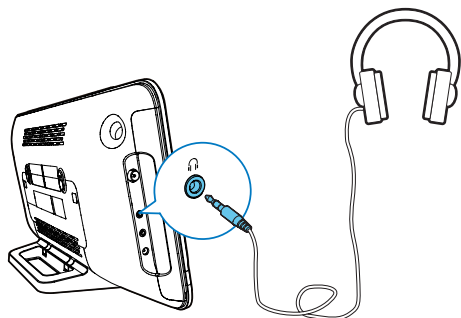
- 1 **USB/AUDIO IN** を繰り返し押して、音源として **[AUDIO IN]** (オーディオ入力) を選択します。
- 2 オーディオケーブル (別売) で次を接続します。
 - 機器の **AUDIO IN** ソケット (3.5 mm)
 - および外部デバイスのヘッドフォンソケット

- 3 接続したデバイスで音楽を再生します（デバイスのユーザーマニュアルを参照してください）。



ヘッドフォンで聴く

- ヘッドフォン（別売）を  ソケットに接続します。



8 製品情報

注

- 製品情報は予告なく変更されることがあります。

仕様

アンプ

定格出力	2 × 10 W
周波数特性	63～20kHz、+/-3dB
全高調波歪み	<1% (1 KHz)
信号対ノイズ比 (A 特性)	>72dBA
オーディオ入力	650mV RMS 22k Ω

ディスク

レーザータイプ	半導体
ディスク直径	12 cm
対応ディスク	CD-DA、CD-R、 CD-RW、MP3-CD
オーディオ DAC	24 ビット/44.1 kHz
全高調波歪み	<1% (1 KHz)
周波数特性	63Hz～20kHz、±3dB
S/N 比	>72dBA

Bluetooth

Bluetooth のバージョン	V3.0 +EDR
Bluetooth 周波数帯	2.4GHz～2.48GHz ISM バンド
有効範囲	10 m (自由空間)

USB

USB Direct バージョン	2.0 フルスピード
------------------	------------

チューナー (FM)

チューニング範囲	76-95 MHz
チューニンググリッド	100 KHz
プリセット局	30
感度	
- モノラル、26 dB S/N 比	< 22 dBf
- ステレオ、46 dB S/N 比	< 51.5 dBf
サーチ感度	<28 dBf
全高調波歪み	< 3%
信号対雑音比 (SN 比)	>55 dBA

一般情報

AC 電源	モデル： AS360-120-AA250 入力：110-240V～、 50/60 Hz、1.2A 出力：DC 12.0V、2.5A
操作時消費電力	15W
エコスタンバイモード時消費電力	<0.5W
質量／寸法	
- 本体 (W×H×D)	465 × 233 × 107 mm
- D-Box	520 × 323 × 123 mm
重量	
- 本体	2.4 kg
- ケース挿入時	3.6 kg

USB 対応情報

対応 USB デバイス:

- USBフラッシュメモリー (USB2.0 または USB1.1)
- USBフラッシュプレイヤー (USB2.0 または USB1.1)
- メモリーカード (本機器で使用するには別売のカードリーダーが必要です)

サポートされている USB フォーマット:

- USB またはメモリーフォーマット: FAT12、FAT16、FAT32 (セクターサイズ: 512 バイト)
- MP3 ビットレート (データレート): 32 ~ 320 Kbps および可変ビットレート
- サポートされているディレクトリ階層: 最大 8 レベル
- アルバム / フォルダ数: 99
- トラック / タイトル数: 999
- Unicode UTF8 のファイル名 (最長 32 バイト)

サポートされていない USB フォーマット:

- 空のアルバム: MP3 ファイルが含まれていないアルバム。画面に表示されません。
- サポートされていないフォーマットのファイルはスキップされます。たとえば、Word 文書 (.doc) や拡張子が .dlf の MP3 ファイルは無視され、再生されません。

サポートされている MP3 デイスク形式

- ISO9660、Joliet
- 最大タイトル数: 128 (ファイル名の長さによって異なります)
- 最大アルバム数: 99
- サポートされているサンプリング周波数: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- サポートされているビットレート: 32 ~ 256 (kbps)、可変ビットレート

9 トラブルシューティング

警告

- 本機器のケースは絶対に取り外さないでください。

機器は自分で修理しようとししないでください。保証が無効になります。

デバイスの使用中に問題が発生した場合は、修理を依頼する前に以下の点を確認してください。それでも問題が解決されない場合は、フィリップスウェブサイト (www.philips.com/support) を参照してください。フィリップスにお問い合わせの際は、お使いの機器と、モデル番号およびシリアル番号をお手元にご用意ください。

電源が供給されない

- AC 電源アダプタのコードが正しく接続されていることを確認します。
- コンセントに電力が供給されていることを確認します。
- トラックの再生終了後、何も操作しないまま 15 分経過すると、節電のために、自動的にスタンバイモードに切り替わります。

音がしない／音質が悪い

- 音量を調整する。

ドッキングスピーカーが応答しない

- AC 電源プラグを一度抜いて再度接続してから、機器の電源をもう一度オンにしてください。

リモコンが機能しない

- 機能ボタンを押す前に、本体ではなくリモコンを使用して、適切な音源を選択します。
- リモコンと本体を近づけます。
- 電池の向きをリモコンの表示(±記号)に合わせて電池を入れます。
- 新しい電池に交換します。
- リモコンを、本体前面にある受光部にまっすぐ向けます。

ディスクが検出されない

- ディスクを挿入します。
- 印刷面が正面を向くようにディスクをディスクコンパートメントに挿入します。
- レンズの結露が消えるまで待ちます。
- ディスクを交換するか、クリーニングします。
- ファイナライズされている CD を使用するか、ディスクをフォーマットします。

USB デバイスの一部のファイルが表示されない

- USB デバイス内で、フォルダ数またはファイル数が制限数を超過していないことを確認します。この現象は誤動作ではありません。
- 形式がサポートされていないファイルです。

USB デバイスがサポートされていない

- お使いの USB デバイスは本体に対応していません。別のデバイスを使用してください。

ラジオの受信状態が悪い

- 本体とテレビまたはその他の放射源との距離を離します。
- 付属のアンテナを接続し、完全に伸ばします。

Bluetooth 接続が成功したのに曲が再生されない。

- ご使用のデバイスが、本機器で無線を使用した音楽の再生に対応していません。

Bluetooth 対応デバイスに接続するとオーディオ品質が低下する。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。デバイスを本体の近くに移動するか、間にある障害物を取り除きます。

Bluetooth をこの機器と接続できない

- 接続しようとしているデバイスが、本機器に必要なプロファイルに対応していません。
- デバイスの Bluetooth 機能がオンになっていません。Bluetooth 機能をオンにする方法については、Bluetooth デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。
- 本機器がペアリングモードになっていません。
- この機器は既に 2 台の Bluetooth デバイスに接続されています。2 台のうちいずれかのデバイスを切断してから、もう一度試してください。

ペアリングしたモバイルデバイスの接続と切断が繰り返される。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。デバイスを本体の近くに移動するか、間にある障害物を取り除きます。
- 携帯電話機によっては、通話の開始または終了時に接続と切断が繰り返されることがあります。これは本機器の不具合ではありません。
- デバイスによっては、省電力機能で自動的に Bluetooth 接続がオフになることがあります。これは本機器の不具合ではありません。

タイマーが機能しない

- 時計を正しく設定します。
- タイマーをオンにします。

時計／タイマーの設定が消えた

- 停電があったか、電源コードが取り外されました。時計／タイマーをリセットします。

10 通知

Gibson Innovations によって明示的に承認された場合を除き、この機器に変更または改変を加えた場合は、この機器を操作するための権限が無効になる可能性があります。

古くなった製品の廃棄



ご使用の製品は、純度の高い素材と材質を使用してデザインおよび製造されたもので、リサイクルと再利用が可能です。

使用済みの製品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないで、正規の収集ポイントに持ち込むか、リサイクルに回してください。これは、環境保全につながります。

環境に関する情報

本製品の梱包には unnecessary 梱包材を使用していません。当社では、梱包材をダンボール（箱）、発泡スチロール（緩衝材）、ポリエチレン（袋、保護発泡シート）の 3 種類の素材ごとに簡単に分類できるように、努力を払っています。

システムは、リサイクル可能な素材で製造されているため、専門業者による分解の後に再利用できるようになっています。梱包材、使用済み電池、古くなった機器の廃棄方法については、お住まいの地域の廃棄手順に従ってください。



**Be responsible
Respect copyrights**

この機器には、米国特許および Rovi Corporation の他の知的所有権によって保護されている著作権保護テクノロジーが組み込まれています。リバースエンジニアリングおよび逆アセンブリは禁止されています。

Bluetooth

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であ

り、Gibson Innovations Limited はライセンスに基づきこのマークを使用しています。その他の商標および商品名はそれぞれの所有者の所有になります。

この機器には次のラベルが添付されています。



注

- タイププレートは機器の背面にあります。



This product has been manufactured by, and is sold under the responsibility of Gibson Innovations Ltd., and Gibson Innovations Ltd. is the warrantor in relation to this product.
Philips and the Philips Shield Emblem are registered trademarks of Koninklijke Philips N.V. and are used under license.

BTM2460_11_UM_V3.0

